性能評価用提出図書（別添）雛形

（軒裏用）

注意事項

1. 本書類は、性能評価用提出図書(別添)です。
2. 図書のサイズは特に指定されたもの以外はA4版としてください。
3. 様式指定のあるものは、指定通りの様式を用いてください
4. 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10ポイント、数字・単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください。）
5. 上書き使用する場合は、このページを削除し、作成要領に従って作成してください。  
   3章は6章と自動リンクしており編集できません。  
   自動リンクは6章入力直後には反映されませんが、「編集」－「すべて選択」の後「F9」を押すと反映されます。  
   「項目」、「仕様」欄は、元の文字を先に消してしまうとリンクが途切れますので、元の文字の左上にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除してください。

ハウスプラス住宅保証株式会社

評定室

（別添）

1. 構造名

○○板張／木製下地軒裏

1. 寸法及び形状等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（寸法単位：㎜）

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 仕　　様 |
| 軒の出 | ○○以上　○○以下 |
| 軒の形状 | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  (1)勾配  (2)水平 |

1. 材料構成

1)主構成材料

| （寸法単位：㎜） | |
| --- | --- |
| 項　目 | 仕　　様 |
| 1　軒天材 | ○○○○板  ・厚さ　　○○以上  ・働き幅　○○以上  ・模様深さ　○○以下  ・密度　○○  ・容積欠損率　○○％以下  ・表面形状  (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする  (1)エンボス  (2)平滑  (3)○○○○ |
| 2　野縁 | ・材質　木  ・種類  (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする  (1)製材  (2)集成材  (3)単板積層材  ・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上  ・間隔　軒の出方向○○以下 |
| 3　吊り木 | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  (1)なし  (2)あり（軒の出が○○を超える場合、又は必要に応じて取付ける場合）  ・材質  1)～3)のうち、いずれか一仕様とする  1) ○○○  2) ○○○  3) ○○○  ・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下 |
| 4　換気スリット | [1]本体  ・材質  (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする  (1)塗装溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-  3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板  ・規格　JIS G 3141  ・厚さ　○○以上  (2)溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-  3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板  ・規格　JIS G 3141  ・厚さ　○○以上  (3)塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯  ・規格　JIS G 3312  ・厚さ　○○以上  (4)フェライト系ステンレス鋼板  ・規格　JIS G 3312  ・厚さ　○○以上  [2]塗装  ・材質  (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする  (1)○○○○系樹脂  (2)○○○○系樹脂  (3)○○○○系樹脂  (4)○○○○系樹脂  ・塗布量　○○g/㎡以下  [3]加熱発泡材  ・材質　○○○○系加熱発泡材  ・組成(質量％)  　○○○○　　\*\*  　○○○○　　\*\*  　○○○○　　\*\*  ・寸法　厚さ○○以上  ×幅○○以上 |
| 5　●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） |
| 6　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| 7　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| 8　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| 9　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |

2)副構成材料

| （寸法単位：㎜） | |
| --- | --- |
| 項　目 | 仕　　様 |
| ①くぎ・ねじ | [1]軒天材留付け用  (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  　(1)くぎ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  　(2)ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  [2]換気スリット留付け用  ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  [3]野縁留付け用(野縁を使用する場合)  (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  　(1)くぎ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  　(2)ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  [4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)  (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  　(1)くぎ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  　(2)ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下 |
| ②●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい）。 |
| ③●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ④●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑤●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑥●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑦●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑧●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑨●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑩●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑪●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑫●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑬●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑭●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑮●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑯●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑰●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑱●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑲●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑳●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |

1. 構造説明図

（寸法単位：㎜）

＜断面図＞（勾配軒仕様）

　軒の出が○○以上○○以下の場合

注）寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

（寸法単位：㎜）

＜断面図＞（水平軒仕様）

　軒の出が○○以上○○以下の場合

注）寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

（寸法単位：㎜）

＜換気スリット形状図＞

注）寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

1. 施工方法等

＜施工図＞

４．構造説明図と同じ

＜施工手順＞

1. 鼻隠し下地の取付け

・鼻隠し下地は垂木に固定する。

1. 野縁の取付け

・野縁は垂木、外壁、壁躯体又は垂木に取り付けた吊り木に固定する。

・軒の出が500㎜を超える場合は軒の出方向の中間部に野縁を配置し、取付け間隔が500㎜以下になるようにする。

1. 換気スリットの取付け

・換気スリットは外壁、壁躯体等へねじで取り付ける。

・換気スリットは連続して使用する場合は突き付けとし、突き付け部に必要に応じて接合部材を使用する。

・防火上有効な発泡材（ありの場合）は、原則として工場で取り付ける。

・必要に応じて換気スリット裏面に断熱材を取り付ける。

1. 軒天材の取付け

・軒天材は、一方を換気スリットに差し込み、もう一方は鼻隠し下地へくぎ又はねじで留め付ける。中間部に留付け材が必要な場合は、くぎ又はねじを用い野縁または受け材へ留め付ける。

・軒天材目地は合じゃくり、突き付け、金属ジョイナーとする。

・

（別　紙）

1. 評価方法

6-1.試験体の選定

1.寸法および形状等

（寸法単位：㎜）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 試験体の構造 | 仕　　様 | 試験体の選定理由 |
| 軒の出 | ○○ | ○○以上　○○以下 | 遮熱性上不利となる最小  (なお、吊り木なしの軒の出最大(○○㎜)についても別途性能を確認している) |
| 軒の形状 | 勾配 | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  (1)勾配  (2)水平 | 遮熱性上不利となる(1) |

2.材料構成

1)主構成材料

| （寸法単位：㎜） | | | |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 試験体の構造 | 仕　　様 | 試験体の選定理由 |
| 1　軒天材 | ○○○○板  ・厚さ　　○○  ・働き幅　○○  ・模様深さ　○○  ・密度　○○  ・容積欠損率　○○％  ・表面形状  エンボス | ○○○○板  ・厚さ　　○○以上  ・働き幅　○○以上  ・模様深さ　○○以下  ・密度　○○  ・容積欠損率　○○％以下  ・表面形状  (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする  (1)エンボス  (2)平滑  (3)○○○○ | ・厚さ、働き幅  遮熱性上不利となる最小  ・遮熱性上不利となる最大  ・仕様と同じ  ・遮熱性上不利となる最大  ・遮熱性上不利となる(1) |
| 2　野縁 | ・材質　木（スギ）  ・種類  製材  ・断面寸法　○○×○○  ・間隔　軒の出方向  　　　　○○ | ・材質　木  ・種類  (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする  (1)製材  (2)集成材  (3)単板積層材  ・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上  ・間隔　軒の出方向○○以下 | ・仕様と同じ  ・遮熱性上同等の性能を有するため一般的な(1)  ・遮熱性上不利となる最小  ・遮熱性上不利となる最大 |
| 3　吊り木 | なし | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  (1)なし  (2)あり（軒の出が○○を超える場合、又は必要に応じて取付ける場合）  ・材質  1)～3)のうち、いずれか一仕様とする  1) ○○○  2) ○○○  3) ○○○  ・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下 | ・遮熱性上不利となる(1) |
| 4　換気スリット | [1]本体  ・材質  塗装溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板  ・規格　JIS G 3141  ・厚さ　○○  [2]塗装  ・材質  ○○○○系樹脂  ・塗布量　○○g/㎡  [3]加熱発泡材  ・材質　○○○○系加熱発泡材  ・組成(質量％)  　○○○○　　\*\*  　○○○○　　\*\*  　○○○○　　\*\*  ・寸法　厚さ○○  ×幅○○ | [1]本体  ・材質  (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする  (1)塗装溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-  3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板  ・規格　JIS G 3141  ・厚さ　○○以上  (2)溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-  3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板  ・規格　JIS G 3141  ・厚さ　○○以上  (3)塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯  ・規格　JIS G 3312  ・厚さ　○○以上  (4)フェライト系ステンレス鋼板  ・規格　JIS G 3312  ・厚さ　○○以上  [2]塗装  ・材質  (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする  (1)○○○○系樹脂  (2)○○○○系樹脂  (3)○○○○系樹脂  (4)○○○○系樹脂  ・塗布量　○○g/㎡以下  [3]加熱発泡材  ・材質　○○○○系加熱発泡材  ・組成(質量％)  　○○○○　　\*\*  　○○○○　　\*\*  　○○○○　　\*\*  ・寸法　厚さ○○以上  ×幅○○以上 | [1]  ・遮熱性上同等性能を有するため一般的な(1)  ・仕様と同じ  ・遮熱性上不利となる最小  [2]  ・塗布量が多く遮熱性上不利となる(1)  ・遮熱性上不利となる最大  [3]  ・材質、組成  仕様と同じ  ・遮熱性上不利となる最小 |
| 5　●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 6　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 7　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 8　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 9　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |

2)副構成材料

| （寸法単位：㎜） | | | |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 試験体の構造 | 仕　　様 | 試験体の選定理由 |
| ①くぎ・ねじ | [1]軒天材留付け用  くぎ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○×L○○  ・間隔　軒の幅方向○○  [2]換気スリット留付け用　ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○×L○○  ・間隔　軒の幅方向○○  [3]野縁留付け用(野縁を使用する場合)  なし  [4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)  なし | [1]軒天材留付け用  (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  　(1)くぎ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  　(2)ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  [2]換気スリット留付け用  ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  [3]野縁留付け用(野縁を使用する場合)  (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  　(1)くぎ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  　(2)ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上 　　　×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  [4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)  (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする  (1)くぎ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下  　(2)ねじ  ・材質　○○  ・寸法　φ○○以上  ×L○○以上  ・間隔　軒の幅方向○○以下 | [1]  遮熱性上不利となる(1)  ・仕様と同じ  ・遮熱性上不利となる最小  ・遮熱性上不利となる最大  [2]  ・仕様と同じ  ・遮熱性上不利となる最小  ・遮熱性上不利となる最大  [3]  野縁を使用しないためなし  [4]  吊り木を使用しないためなし |
| ②●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい）。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ③●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ④●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑤●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑥●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑦●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑧●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑨●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑩●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑪●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑫●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑬●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑭●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑮●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑯●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑰●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑱●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑲●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑳●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |

6-2.試験方法

　・試験は、6-1に示した試験体について、方法書「4.2準耐火性能試験・評価方法」に基づき○○分準耐火性能試験を実施した。

6-3.試験の結果

[準耐火性能試験](加熱○○分)

* + 1. 標準板の裏面温度上昇が加熱中、平均で140K以下、最高で180K以下であった。
    2. 標準板の非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
    3. 標準板の非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がなかった。
    4. 標準板に火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

6-4.評価の結果

　 本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

1. 申請者連絡先

会社名：

所在地：

電　話：